

## 令和3年度第2回浜松市母子保健推進会議 会議録

- 1 開催日時 令和4年2月17日(木) 午後1時30分から午後3時
- 2 開催場所 オンライン及び浜松市口腔保健医療センター
- 3 出席状況 委員 [全委員オンライン参加]  
伊東 宏晃委員、稲本 裕委員、石井 廣重委員、大木 茂委員、  
大場 悟委員、鹿野 共暁委員、神崎 江利子委員、森園 直美委員、  
梅ヶ枝 裕子委員、齋藤 由美委員、  
事務局 鈴木 達夫(医療担当部長)、板倉 称(健康福祉部医監)、  
平野 由利子(健康増進課長)、坂本 友紀(健康福祉部副参事)、  
小山 東男(子育て支援課長)、健康増進課職員3名、  
子育て支援課職員1名  
オブザーバー 野田 志保(次世代育成課長)、精神保健福祉センター職員2名
- 4 傍聴者 3人
- 5 議事内容
- (1) 令和3年度上半期 浜松市母子保健事業 事業実績報告
  - (2) 令和3年度上半期 浜松市児童福祉事業 事業実績報告
  - (3) 妊娠期を含む若年女性の健康なからだづくり
  - (4) 流産・死産後の心理社会的支援に関する実態調査
  - (5) 産後ケア事業利用者へのアンケート調査
  - (6) 産科・精神科・行政等の連携
  - (7) 令和4年度 母子保健事業の取り組み
- 6 会議録作成者 健康増進課母子グループ 豊田
- 7 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 有・無
- 8 会議記録  
定刻の午後1時30分に開会し、事務局から資料の確認、委員の出席数の報告、情報公開の確認、報道機関の取材と傍聴者の了承、委員交代の報告、精神保健福祉センター職員2名及び次世代育成課職員1名(オブザーバー参加)の紹介、を行った。

(1) 令和3年度上半期 浜松市母子保健事業 事業実績報告

【事務局】事務局より資料をもとに説明。また、昨年度の本会議にて委員よりご提案いただいた思春期教室の講義動画のYouTube配信について、浜松市産婦人科医会のご尽力により作成し、市が運営している「はままつ動画チャンネル」にて市内中学校を対象に今月中旬から令和5年3月31日まで限定公開している旨、補足説明した。

さらに、浜松市における少子化対策について、次世代育成課より補足資料により説明を行った。

【会長】思春期教室の動画作成について、継続的に評価をしていただければと思います。大切な取組だと思います。

【委員】婚姻届出数は、コロナ感染拡大の影響でより加速的に減少したというような傾向はありますか。

【次世代育成課】コロナ感染拡大による影響は少なからずあるかと思いますが、原因の特定までは難しい状況です。

【会長】次世代育成課よりご発表ありがとうございます。妊娠届出数は5年で3分の2ほどの大幅な減少が認められており、これ以上減らさない対策が必要であると考えます。継続的な対策をお願いいたします。

不妊治療支援について、保険適用部分とのすり合わせを十分検討いただきたいと思います。また、HPVワクチンについても、統計上もう少し接種者数が多いものと思いますが、今後の受診勧奨についての考え方はいかがでしょうか。

【事務局】定期接種対象の方については個別勧奨を想定していますが、今後、市産婦人科医会の先生方とも連携して取り組んでまいりたいと思います。

【会長】性教育を実施した際にHPVワクチンも啓発してもらおう等、性教育との連携も重要かと思っています。

(2) 令和3年度上半期 浜松市児童福祉事業 事業実績報告

【事務局】子育て支援課より、資料をもとに説明。

【会長】発達障害について母子健康手帳交付時に案内を配って数年経過するかと思います。相談割合について経年的にみて大きな変化は見られませんが、妊娠期から啓蒙を始めたことの効果はどう捉えていますか。

【事務局】表53の年齢構成に大幅な変化はありませんが、年齢・月齢に応じた啓発は継続的に実施しています。数値に表れにくい部分ではありますが、今後も発達障害についての啓発は実施していきたいと考えます。

【会長】何らかの形で評価や啓発方法の見直しが行われると良いかと考えます。また、はますくファイルの電子化の取り組み状況はいかがでしょう。

【事務局】はますくファイルの見直しは来年度4月を予定しています。サイズもA4から半分程度に小型化し、はますくノートとして記録に特化した構成へ変更します。また電子化については、

子育て情報サイトびっぴをリニューアルするとともに、新たに LINE アカウントを開設し、友達登録者に対して月齢に応じた発達に関する情報を発信するなど、取り組んでいく予定です。

【会長】 それでは次年度の取り組みとして、次回の会議時に発表いただけると期待してよろしいでしょうか。

【事務局】 次回の会議時に報告させていただきます。

【委員】 はまずヘルパーについて、お母さんたちから産後に利用申請をされた際、利用の1か月前に言ってほしかったと窓口で言われ、断られたようなケースが数件あったと聞いています。窓口でも丁寧な説明や呼びかけをしていただけるとありがたいです。また、ヘルパーについては家事又は育児相談を行うとなっていますが、育児相談のスキルの研修は実施されているのでしょうか。

【事務局】 はまずヘルパーの窓口対応や説明は改めてこちらでも注意して取り組んでまいりたいと思います。ヘルパーについては、育児相談が可能な方として選定をいただいている状況です。今後必要に応じて育児経験等を踏まえ育児相談が可能な方に対応していただくなど、改めて周知してまいります。

### (3) 妊娠期を含む若年女性の健康なからだづくり

【事務局】 事務局より資料をもとに説明。

【会長】 指針の改定に基づいた周知啓発は非常に重要であると思います。今回、栄養士会と一緒にリーフレットを作成いただいたかと思います。母子保健の中でも栄養は重要な点であると考えますので、今後も栄養士会と連携しながら対応していただければと思います。

【事務局】 栄養士会でも当リーフレットを活用いただけると聞いております。そのような点で一緒に取り組んでいきたいと考えます。

### (4) 流産・死産後の心理社会的支援に関する実態調査

【事務局】 事務局より資料をもとに説明。

【委員】 死産後に母乳についての相談を受ける場合がありますが、死産の場合でも浜松市の産後ケアの対象となるのでしょうか。

【事務局】 死産の場合でも産後ケア事業の対象者であると考えます。通常の産婦と比べるとうつ傾向などメンタル的に不安定であることが考えられますので、このあたりもフォローしていただければと考えています。

【会長】 今回は実態調査として、ケアの内容については触れられていないと思います。実際にはかなり難しいケアになるかと思いますが、今後、質を高めるための教育や人材育成等どう考えていますか。

【事務局】 行政においても現状、相談スキルは高くない状態であると考えています。本年2月24日に市内助産院等との会議を計画しており、先進的な取り組みをしている聖隷浜松病院より報告をしていただく予定です。そのようなところから、今後どのような研修等必要か現場の方々とい

緒に検討していきたいと考えます。

【委員】今回の調査は支援者側の調査であると思います。今後難しいかもしれませんが、受け手側の調査ができればありがたいと考えます。

【事務局】実施できるかどうかも含め、検討していきたいと思います。

#### (5) 産後ケア事業利用者へのアンケート調査

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】今回の調査における利用者の背景情報、第何子・理由・年齢等はわかるのでしょうか。

【事務局】別添3に集計結果を掲載しています。資料記載の内容が今回の回答者の背景となります。また、市の利用実績を簡易しているデータベースにもある程度の背景が推察できる状況です。

【委員】背景を検討することでニーズ把握や新たなニーズの発掘ができる部分もあるのではないかと思ったので確認しました。ありがとうございました。

【会長】アンケートを元に今後周知についてどのように考えていますか。

【事務局】現状母子健康手帳交付時に周知していますが、妊娠期にもう一度周知する機会を設定できれば理想的であると考えます。今後、具体的なタイミングを検討していきたいと考えます。

【会長】分娩施設との連携も一つであると思います。

【事務局】分娩施設へもご協力を改めてお願いしていきたいと思います。

#### (6) 産科・精神科・行政等の連携について

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【会長】素晴らしいアンケートであり、連携の大切な第一歩です。今後が重要であると思います。

【委員】メンタルヘルスの重大性は以前から訴えており、5年以上経過しても大きな改善無く経過しているように感じます。精神科について、小さな病院だと専門と異なると言われたり、大きな病院ではなかなか予約が取れない現状もあつたりと難しい現状は変わりません。市産婦人科医会での精神科連携についての講演会も予定されていましたが、コロナ下において中止となつてしまい大変残念だった。現場は大変困っている課題なので、迅速に進めてほしいと考えている。

【委員】市産婦人科医会での講演会はコロナ感染拡大の影響で中止せざるをえなかったが、今年の5月から7月には改めて実施する予定です。実施する際には、産婦人科医以外の方も聴取可能であるため、また希望される方は参加いただきたいと思っています。

【会長】精神保健福祉センター職員より一言いただけますか。

【精神保健福祉センター】各アンケート調査にご協力いただいた皆様に改めてお礼を申し上げたいと思います。今回改めて課題が明らかになった調査であると認識しています。ご指摘のとおり、これを出発点としてより一層の連携を模索していきたいと考えています。

【会長】これからが大切ですが、まずは動き出したことが重要であると思います。この会議で何ができるか含め、継続して検討していきたいと思います。

(7) 令和4年度 母子保健事業の取り組み

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【会長】キャッチアップ接種はとても大切であると考えます。3年間の期間内にパンフレット配布を1回だけではなく、毎年やっていただきたいと考えます。8年分の対象者を救うチャンスとなるため、毎年の勸奨をお願いしたいのですがいかがでしょうか。

【事務局】財政的な課題もあるため明言はできませんが、接種していない方に対して十分な周知ができるよう検討していきたいと考えます。

【会長】妊婦健診受診票について、単価が上がるのは良いのですが、結果を記載する作業はかなり大変であると思います。関係者の方いかがでしょうか。

【委員】现阶段では多くの方は知らないのではないのでしょうか。初回健診時の検査結果をすべて記載する必要があるため、受診後にカルテを確認して記載する形となり、初回受診券と同時に請求することは不可能であると考えます。

【会長】例えば、結果用紙のコピーをホチキス止めして提出する形を認めていただければ効率的な運用になるように思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】手間が増えて大変申し訳ありませんが、浜松市としては結果報告する用紙を受診票とは別に提出することも可能となるよう、柔軟な運用を検討しています。

【会長】運用の柔軟性もありがたいですが、出来れば検査結果のホチキス止めでも受けてもらえるよう、さらにご検討いただけるとありがたいです。現場の先生はいかがでしょう。

【委員】実際の運用はまだ決まっていないのですが、かなり手間はかかってしまうものと思われます。出来るだけ負担軽減してもらえるとありがたいです。

【会長】手書きでなくも良いよう、運用方法の検討をお願いいたします。

【事務局】検討させていただきたいと思います。

(5) その他

【事務局】1点連絡事項を申し上げます。次回の会議の開催ですが7月頃を予定しております。会議の開催日が決まりましたら改めて皆様へ通知の方をさせていただきますので、よろしくお願い致します。

【会長】それでは以上をもちまして、母子保健推進会議を閉会します。どうもありがとうございました。